



▲赤塚院長(中央)と赤塚歯科医院の皆さん

児童の歯科衛生のために尽力
赤塚院長が
学校保健功労者表彰を受賞

10月、福島県学校保健会による「学校保健功労者表彰」の受賞者が発表され、赤塚歯科医院(只見)の赤塚公寿院長が同表彰を受けられました。この表彰は、学校保健の進展に寄与し、本県学校保健の振興に功労のある人・団体を表彰するものです。赤塚院長は、昭和59年から現在までの約35年間、只見小学校の学校保健医として児童の歯科衛生に努められてきた点や昨年度と今年度、同校が「福島県学校歯科保健優良校」として表彰されたことに大きく貢献された点などの功績が認められ、今回受賞となりました。



▲いじめ防止に向けた話し合いが行われた

いじめをなくすために
只見町いじめ問題対策連絡協議会

10月23日、役場で「只見町いじめ問題対策連絡協議会」が開催され、町教育委員会と各学校長や駐在所、児童委員などからなる協議会委員が出席しました。会議では、各学校のいじめ防止基本方針と現状について話し合いが行われ、いじめ防止のためには学校と保護者との情報共有が特に重要であること、家庭での手伝いは責任感や自尊心を育み、いじめをしない人格につながるなどの意見が委員から出されました。会議を通じ、いじめによる事件を防ぐために学校や関係機関の連携を強め、いじめの防止に努めていくことが再確認されました。



▲ツアーで来町された皆さんをお出迎え

お酒を楽しむリゾート列車
「越乃Shu*Kura!」が只見駅に初来駅

10月29日、JR東日本の列車「越乃Shu*Kura!」が初めて只見駅に来駅し、乗客の皆さんを関係者らがお出迎えしました。同列車は、2014年に運行を開始した「酒」をコンセプトとする観光列車で、通常は上越妙高駅〜十日町駅間を運行しています。車内にはイベントスペースやサービスカウンターが設置され、季節毎の利き酒やジャズ・クラシックの生演奏、新潟県内の酒蔵による各種イベントなどを楽しむことができます。人気の列車です。



▲車体は藍下黒と白を基調としたデザイン
(カラーでお見せできません)

今回は、JR新潟支社が同列車を活用したツアーを特別に企画してくださり、新潟方面から多くの方々が見学されました。只見駅では、町やJR社員、各事業者、只見線愛好会などの皆さんが横断幕を持ち、歓迎のお出迎えをしました。また、只見の地酒(岩泉、ねっか、どぶろく)・山菜のふるまいが行われました。只見線運休区間の復旧に向け、町としても関係機関と協力し、只見線関連の事業を進めていく予定です。

「からだ塾」でノルディックウォーク

「からだ塾」でノルディックウォーク

11月4日、健康増進と秋の紅葉を楽しむことを目的に「からだ塾（ノルディックウォークAT只見湖岸）」が行われ、町内から12人が参加しました。このイベントは只見振興センターが主催し、ただみコミュニティクラブの指導で実施したもので、2本のポールを使うノルディックウォークにより通常のウォーキングに比べて高い運動効果が期待できます。参加者は、2つのコースに分かれて只見湖周辺を歩き、汗を流すとともに、紅葉に包まれた美しい景色を満喫しました。



▲ポールを使い、各コースを歩いた参加者の皆さん

「だれ一人取り残さないために」 僕の国キリバスからのメッセージ

11月6日、ESD海洋教育として、日本キリバス協会のケンタロ・オノ代表理事による講演会が只見中学校で開催されました。オノ氏は仙台市生まれですが、15歳のときにキリバスに留学。卒業後も滞在し、キリバス国籍を取得しました。キリバスは平均海拔2mなどの理由から、地球温暖化や気候変動による影響を受けやすく、最悪の場合、海面上昇によって国土が水没してしまう可能性があります。オノ氏は、講演を通じて地球温暖化を防止するため、環境に配慮した取組の重要性などを訴えました。



▲キリバスの正装に身を包み、熱い想いを生徒たち（只見小・中学校）に伝えたオノ氏

「空き家と実家のこれからを考える」

11月9日、同セミナーが只見振興センターで行われ、町内から15人が参加しました。このセミナーは、「実家の行く末」について今から意識してもらおうことを目的に、フリージャーナリストの三星雅人氏を講師にお招きして開催されたものです。セミナーでは、全国的な空き家の放置問題や特定空き家の説明、相続に関すること、空き家になる前にできる取組などについて解説があった後、町民の方から町内の空き家の活用事例、事務局（町地域創生課）より補助制度などが紹介されました。



▲空き家問題への理解・対策を深めたセミナー

「町文化協会の「芸能発表会」

11月10日、町文化祭（11月3日開催）事業の一環として「第24回芸能発表会」が季の郷湯ら里で開催されました。芸能発表会は、町の文化協会が文化祭に合わせて毎年開催しているもので、今回は9団体（宝生流謡曲研究会只見松楓会、只見つくし会、只見民謡会、瞳の会、只見音楽研究会、はぎの会、コーラスはなみずき、蒲生花輪踊り保存会、天領只見仙嶽太鼓保存会）の皆さんが出演し、練習の成果を披露しました。会場には町民を中心に多くの方々が訪れ、舞踊や演奏を楽しんでいました。



▲華麗な舞や迫力のある演奏などを披露した皆さん

急増する詐欺に要注意 スマホ・ケータイ安全教室を開催

11月11日、町振興センターが主催する「スマホ・ケータイ安全教室」が只見振興センターで開催され、町内から5人が参加しました。

初めに、只見駐在所岩崎所長より、県内での詐欺被害状況や事例などの説明があり、留守番電話の活用や「家族だけの合言葉を決める」「お金の話を疑う」などの注意点が解説されました。また、NTTドコモから講師をお招きし、「架空請求詐欺」「特殊詐欺」等への対策や「災害時における伝言板の活用事例」が映像を交えて紹介され、スマートフォン等を安全に活用するための知識を得る貴重な機会となりました。



▲架空請求詐欺などへの対策について学ぶ参加者

只見町センター企画 只見の地形・植生について 講座と自然観察会を開催

11月16日に只見町ブナセンター主催の講座「地質からひもとく只見の自然」、17日に自然観察会「晩秋の只見で地形と地質、植生を観察しよう」が開催され、町内外から多くの方々に参加しました。

講座では、元福島県立博物館専門学芸員の竹谷陽二郎氏を講師にお招きし、只見の地質の成り立ちや特徴的な地形を紹介していただきました。また、観察会では布沢層（梁取）やただみ観察の森「梁取のブナ林」などで地質・植生を見学しました。講座と観察会を通じ、只見の地形とその上に成立する自然環境について深く学ぶことができた2日間となりました。



▲布沢層を解説する竹谷氏と観察会に参加した皆さん

食材を通じ交流を促進 柏市と学校給食の食材交換を実施

11月20日、ふるさと交流都市の千葉県柏市と只見町の「学校給食食材交換事業」が行われ、町内の小中学校では柏市産ブルーベリーを使った給食が提供されました。

同事業は、両市町の交流と食育推進などを目的に平成24年度から実施されており、今年度、只見町からは（株）伊南川（梁取）が生産した「コシヒカリ」を柏市立柏第八小学校に提供しました。

明和小学校では、全校児童に柏市との交流や食材交換の内容、ブルーベリージャムの製造工程などが紹介され、児童たちが美味しい給食を味わいながら、食材を通じた交流を深めました。



▲美味しいブルーベリージャムを味わった児童の皆さん（明和小学校）

会津短大の派遣講座により プログラミング教育研修を実施

11月21日、町内小学校の先生を対象とした「プログラミング教育研修」が只見中学校で開催され、16人（先生や関係者）が参加しました。

同研修は、会津大学短期大学部の派遣講座を活用し、町内におけるプログラミング教育の推進を目的に初めて開催されたものです。研修では、8歳から使用可能と言われる無償プログラミングソフト「Scratch（スクラッチ）」を題材に、実際のプログラミング作業や小学校（会津若松市）における導入事例の紹介などが行われました。



▲中澤教授（会津大学短期大学部）を講師にお招きし、研修が行われた